

「フェイクを見極める」

開催地： 大分

グループ： D班

2021.8. 22

フェイクとの向き合い方

いいフェイクニュース

【幻のホームラン】

目の見えない少年が、好きな野球選手がホームランを打つと目の手術をするという話です。

結局はホームランを打つことはできなかったのですが、実況者が「月まで届くようなホームラン！」と言ったのです。

無事手術は成功しました。

悪いフェイクニュース

【熊本地震】(Twitter)

ある1人のツイートです

熊本地震のせいで家の近くのライオンが外に放たれたと言うツイートと共にライオンが映し出された画像を載せたものが話題になりました。

動物園の営業を妨害したことによりそのツイートの人は逮捕されました。

影響

いいフェイクニュースは少年に勇気を与えました。
悪いフェイクニュースは色々な人に悪影響を及ぼしました。



フェイクニュースが生まれる原因

- 1 個人が特定されにくく、特定されにくい。
→特定できると、自分に被害がある。
- 2 発信が手軽。
→反社会的な意見も拡散されてしまう。
- 3 事実を曲げることができる。

自分たちができること

【偽の情報を信じない、流さない為の4つの意識】

- 1 一つの情報を鵜呑みにしない
- 2 常に疑う姿勢で生活する
- 3 多くの情報源から判断する
- 4 想像力を働かせる



提案

ネット上の新たなシステム

現状

- ・ 匿名性の高さ → 安易な誹謗中傷
- ・ 発信、拡散の手軽さ → 言葉の責任の軽さ

育て続けた“利便性”が、人を傷つけるために使われている

情報に『責任』を持たせる仕組み

- ネットカフェにあるパソコンでの書き込みの制限
- 特定の機関でのみ解析可能な、個人を特定できる暗号
- ネット上の「誰か」ではなく、「1人の人間」として扱うことが、行き過ぎた行動を抑制する

ご静聴ありがとうございました